

患者さんへ

「化膿性膝関節炎及び人工膝関節置換術後感染症例に対する穿刺関節液における細菌学的検査についての検討」について

1. はじめに

臨床研究とはより良い診断や治療のために医学的なデータを得るさまざまな研究のことを言います。今回の研究は、診療記録・細菌学的検査等を用いて調査する研究です。

2. 研究について

【目的】本研究は、化膿性膝関節炎及び人工膝関節置換術後感染等の膝関節感染症における発生状況、細菌学的検査の状況を明らかにすることを目的とします。

【対象】2012年1月から2019年12月まで、当院に通院、入院された化膿性膝関節炎及び人工膝関節置換術後感染を発症された患者さん。

【方法】すでに診療目的で作成されたカルテ上の診療情報、細菌学的検査情報を用いて解析を行います。

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：研究対象者背景（生年月、性別、既往歴、合併症等）、臨床検査（血液学的検査、血液生化学検査）、細菌学的検査（細菌培養、グラム染色）等、診療情報（手術歴、治療歴等）

【研究に用いる試料・情報の提供方法】

提供先：大阪大学 提供方法：データにパスワード処理等を行って、電子メール等で特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

【研究予定期間】研究許可日～西暦2023年12月31日までの予定です。

3. プライバシーの保護

この研究で得られた情報を取りまとめるために、大阪大学にあなたの情報を提供しますが、あなたを特定できる情報は記載しません。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。また、この研究結果は学会や医学雑誌などに発表されることがありますが、個人が特定できないように配慮され、あなたのお名前や住所などが明らかになるようなことはありません。集計された結果は国内外の学会や論文誌上で発表し、研究に用いられた情報は研究、学会や論文発表により結果報告が終了してから5年又は研究結果の最終公表日から3年又は論文等の発表から10年のいずれか遅い日まで保管し、適切に廃棄します。

4. 研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく責任医師にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

5. 責任医師への連絡

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記の責任医師に申し出てください。

患者さんのご希望があれば、この研究計画書及び研究方法に関する資料を入手または閲覧することができます。



担当診療科：大阪医療センター 整形外科

研究責任者：宮本 隆司

連絡先電話番号：06-6942-1331

【共同研究組織】

＜研究分担者＞	大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学 招聘教員/ JCHO 星ヶ丘医療センター 整形外科 部長 梶座 康夫
	大阪大学大学院医学系研究科運動器バイオマテリアル学講座 准教授 富田 哲也
＜研究協力者＞	大阪大学大学院医学系研究科運動器バイオマテリアル学講座 大学院生 石橋 輝哉
＜事務局＞	大阪大学大学院医学系研究科運動器バイオマテリアル学講座
＜データセンター＞	大阪大学大学院医学系研究科運動器バイオマテリアル学講座
＜解析＞	JCHO 星ヶ丘医療センター

【共同研究機関】

JCHO 星ヶ丘医療センター	梶座康夫 (データ提供、収集、解析)
大阪医療センター	宮本隆司 (データ提供)
大阪南医療センター	辻成佳 (データ提供)
JCHO 大阪病院	西川昌孝 (データ提供)
大阪府立急性期総合医療センター	野村幸嗣 (データ提供)
市立豊中病院	吉田礼徳 (データ提供)
姫路赤十字病院	川島邦彦 (データ提供)
神戸掖済会病院	藤戸稔高 (データ提供)
大阪刀根山医療センター	高樋康一郎 (データ提供)

【研究の資金源】 ありません

【利益相反】 ありません

臨床研究における利益相反（COI(シーオーアイ)：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。利益相反についてはそれぞれの施設の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。